

阿賀野川自然再生の今後の進め方



阿賀野川河川事務所

令和4年6月



1. 今後の工程(案) 短期的対応

- ・令和2年度で、短期的対応の全ての整備が終了。
- ・令和4年度は、モニタリング調査として、小阿賀樋門、及び水ヶ曾根地区を継続する。

分類	項目	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4~	
ワンド再生	焼山地区	前	工事	整備モニタリング					河川監視モニタリング (魚類)			
				追加調査、追加対策の検討								
	高山地区	前	工事		工事	整備モニタリング						
	論瀬地区				前	工事	整備モニタリング					
	下里地区				前	工事	整備モニタリング					
	水ヶ曾根地区				前	工事	整備モニタリング					
流れの多様性	三本木大橋下流				前	工事	整備モニタリング					
	善願橋下流						工事	整備モニタリング				
連続性の確保	満願寺閘門				運用開始	整備モニタリング						
	小阿賀樋門					前	工事	整備モニタリング				
砂礫河原の再生	水ヶ曾根地区					前	工事					
								整備モニタリング				

※本工程表は、当初工事までの案を示している。 工事後は、整備モニタリングを行い、整備箇所状況を評価し、必要に応じて追加対策等を検討する。

前 : 事前調査

整備モニタリング後には河川監視モニタリングを実施する。

- ・ 測量、及び、河川水辺の国勢調査による生物調査。
- ・ 測量は、大規模出水後に実施。
- ・ 国勢調査は、魚類、植生図・河川形態を対象とし、5年に1回のサイクルに合わせ実施。

2. 今後の工程(案) 中期的対応

- ・中期的対応は、整備工程を大きく2期間に分け、前半を自然再生に係わる『設計・整備技術の蓄積』、後半を『設計・整備技術の展開』として計画的に進める。
- ・令和4年度は、沢海地区の浅場再生の設計および工事に着手する。
- ・なお、短期的対応における整備済み箇所（ワンド、流れの多様性）のモニタリングは、河川水辺の国勢調査（魚類、植生図）による監視モニタリングとする。

整備項目	整備箇所	第1段階(技術の蓄積)										第2段階(技術の展開)										モニタリング							
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28		
浅場	小杉																												
	法柳										前																		
	沢海	前																											
	六郷							前																					
河原(ワンド)	水ヶ曾根(短期整備)																												
	小浮															前													
	笹堀(河川改修)																												
	早出川					前																							
連続性	水量多・落差解消										前																		
	水量少・落差解消		前									前																	
	水量少・急勾配緩和		前										前																
	渡場庄固(河川改修)																												
短期的対応 ワンド	焼山地区、高山地区、論瀬地区、 下里地区、水ヶ曾根地区	河川監視 モニタリ ング																											
短期的対応 流れの多様性	三本木大橋下流、 善願橋下流	河川監視 モニタリ ング (植生図)																											

整備モニタリング後には河川監視モニタリングを実施する。

- ・ 測量、及び、河川水辺の国勢調査による生物調査。
- ・ 測量は、大規模出水後に実施。
- ・ 国勢調査は、魚類、植生図・河川形態を対象とし、5年に1回のサイクルに合わせ実施。

前：事前調査

- ・ 令和4年度は、短期的対応にかかる整備モニタリングとして、砂礫河原再生箇所、及び、小阿賀樋門のモニタリングを継続する。
- ・ 中期的対応として、沢海地区の浅場再生の設計および工事に着手する。
- ・ モニタリング検討会は、冬期に1回の開催を予定。

整備モニタリング調査 (短期的対応)

①砂礫河原再生箇所（水ヶ曾根地区）

- ・ 融雪出水中のUAV撮影 ※R4. 4. 17実施済
- ・ 融雪出水期後に改良工事（分岐水路の閉鎖）
- ・ UAV空撮、形状把握、水理状況の把握（出水後）
- ・ 整備効果の定量的評価 侵食量、水理条件 等

②小阿賀樋門

隔壁高を変更した状態で以下のモニタリングを実施

- ・ サケの遡上調査（10月～11月）
- ・ 整備効果の定量的評価 遡上率、水理条件 等

整備形状の 検討 (中期的対応)

③浅場整備箇所の詳細検討（沢海地区）

- ・ 測量、詳細設計、工事着手（樹木伐採、河道掘削）

④連続性確保箇所の事前調査、整備検討（大河原樋管、千唐仁樋管）

- ・ 魚類、底生動物調査（春、秋） ※R4. 5. 6～8春調査実施済
- ・ 整備方法の検討

モニタリング 検討会

●第13回 今回

●第14回 令和4年度 冬

- ・ 短期的対応の整備モニタリング調査結果報告
- ・ 中期的対応のうち、沢海地区の浅場再生の設計結果、工事進捗状況 等